

貴生川小学校

2019年度 我が校の学ぶ力向上策(実施計画)

**【市町 目標】**  
 ○授業改善と家庭学習の充実に向けた取組を両輪で進めることにより、学ぶ力を高め、確かな学力を育む。

**【学校 目標】**  
 ○学びに向かう意欲を高める授業改善と家庭や地域と連携し、学ぶ楽しさを実感できる環境づくりに努め、知識を活用できる力を養い、子ども一人ひとりの学ぶ力を育む。

**【現状と課題】**

○視点1 子どもたちは知識を受け入れることに真面目である。ただ、その受け身的な姿勢を変えるためには、自ら問題を解決し、追求していける授業改善が必要だ。

○視点2 学級によって差はあるが、グループ活動等楽しく取り組める。しかし、間違ふことや笑われることに対する抵抗から考えを積極的に表現しない子もいる。特別支援理解も含め、違いを認め合える学級づくりに努め

○視点3 教職員の教育熱は熱い。ただ、質的に個人差が大きいので、互いに切磋琢磨し合える研修体制や、個々の時間のゆとりが必要だ。

取 組		
視点1	視点2	視点3
学びを実感できる授業づくり	学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり	子どものために一丸となって取り組む学校づくり
<b>【取組事項】</b> ○「読み解く力」を育成する。 ・基礎、基本的な知識、技能を習得するための学習を繰り返す。 ・自分で考える時間を十分に保障する。 ・自分の考えを、根拠をつけて仲間説明できる場づくり。 ・学びのふり返りを必ず行う。	<b>【取組事項】</b> ○互いの違いを認め合い、自分の考えや思いを、安心して表現できる学級経営 ・特別支援教育の理解を深める。 ・相手の思いを聞く力をつけ、相手の意見を元に自分の考えを言えるようにする。 ・道徳教育と体験活動を充実させ、人間関係づくりに努める。	<b>【取組事項】</b> ○「チーム貴生川」を意識して動けるようにする。 ・全教職員が自ら研鑽を積み、資質向上を図る。 ・校務分掌を有機的に機能させる工夫を行う。 ・地域連携会議を密にして、保護者、地域の方との協働を強める。

**その他 取組事項**  
 教職員も子どもも、確かな人権感覚が持てるよう、虫の目、鳥の目、魚の目の見方を鍛える。

**取組の評価**  
 ※プランに示した数値目標は、県教育委員会の取組の指標です。学校の評価指標は、それぞれの課題等の状況に応じて設定することが重要です。

	取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
全体		学学調査基本問題平均点：滋賀県越え		
視点1	国語/算数/理科等ののめり込める授業づくり	学学質問紙「算数の授業はよくわかりますか」「理科のこともっと知りたいことが出てきたか」当てはまる60%		
視点2	学校が楽しくて仕方が無い学校環境づくり	アンケート：とてもたのしい70%		
視点3	教職員資質向上研修体制（OJT）	研修内容（授業、児童理解、各種教育、新学習指導要領、危機管理等）：とてもためになった75%		
その他	人権学習	校内人権の日の成果（児童ふり返り）：生活に関連した具体的表記60%		

評価：【達成状況 90%以上→A 70%以上90%未満→B 70%未満→C 時期→1回目：9月 2回目：2月】

今年度の取組の課題